つつじ山までのぼってみよう！
きょり／約1,980m　時間／約45分

千畳敷までのぼってみよう！
きょり／約2,640m　時間／約65分

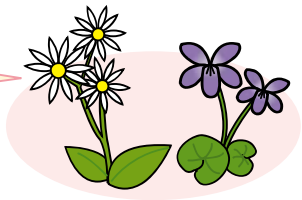
作成年月／2009.3

函館山のふしぎをみんなでさがしてみよう！

1 函館山の植物

函館山は、北海道でも南に位置していて、暖かい気候であることや、昭和20年までの約50年の間、函館山全体が軍事基地として利用され、市民の立ち入りが禁止されていたことなど、植物が育つのにめぐまれた自然環境だったことから、約600種類の植物が見られるよ。

みんなが登る函館山には、たくさんの植物が見られるよ。いくつ探せるかな？がんばって探してみよう！



※いっしょうけんめい生きている植物を、「ふんだり」「とったり」しないでね。

2 函館山のスギ人工林

今から200年以上前、北海道では樹木は燃料などとして切り出されていたから、函館山も木がほとんど無くなってしまった時期があったんだ。その後、「高田屋嘉兵衛」や「倉山卯之助」という人たちがスギのなえ木を植えたことで豊かなスギ林ができたんだよ。

みんなより大きくて太い木だよ。

3 函館山の溶岩

函館山は、約100万年前まで活動していた火山がふんかして溶岩などが盛り上がって出来た火山なんだよ。この岩石は、そのころ出来た溶岩で「御殿山溶岩」と言われているよ。

岩石の表面はよごれているけれど、この下に落ちている岩石の中から、新しく割れたものを探してみよう！
かなり大きな美しい鉱物が光って見えるよ。

※石が落ちてくるかもしれないから、さくの中に入らないでね。

4 函館山の野鳥（野鳥観察小屋）

函館山には、春夏秋冬を通して約150種類の野鳥が見られ、また、津軽海峡を秋には南下、春には北上するわたり鳥の休息地として、大切な役割を果たしているんだ。だから、函館山は、鳥などの動物をとることや、かんきょうをはかいすることを禁止する地区になっているよ。

みんなは何羽の鳥を見つけられるかな？鳴き声も聞いてみよう！

※野鳥がおどろかないように、静かに観察してね。

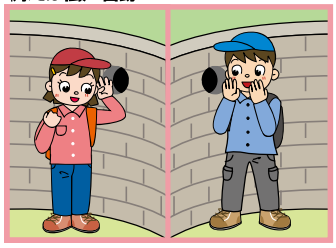
5 函館山の要塞（御殿山第二砲台跡）

函館山には、100年以上も前に津軽海峡や函館の市街地を守るために、大砲が置かれていたんだよ。今でも、その大砲の台だけが残っていて、そのころの様子が分かる場所なんだ。

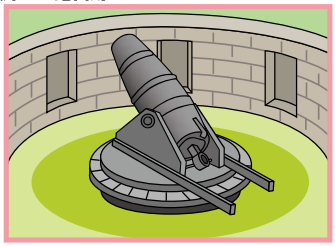
※危ないから、立ち入り禁止の場所には絶対に入らないでね。

ここには、戦争当時のたくさんの不思議なものがあるから、みんなで探して調べてみよう！

例えば伝声管跡



例えば砲台跡



学校（ようちえん・ほいくえん）名

年

組

名前